

平成28年度第1回柴田町男女共同参画推進審議会 議事概要

【日 時】

平成28年8月3日（水） 午後3時～5時

【場 所】

柴田町ふるさと文化伝承館2階 多目的ホール

【出席者】

柴田町男女共同参画推進審議会委員 8名（別紙のとおり）

事務局（柴田町まちづくり政策課） 3名

【資 料】

- ①平成28年度男女共同参画推進審議会委員名簿
- ②第3次しばた男女共同参画プランに基づく平成27年度事業実績及び第4次しばた男女共同参画プランに基づく平成28年度事業計画書
- ③平成28年度男女共同参画推進事業実施計画書
- ④ぱれっと 2016.5号

【内 容】

進行：事務局（平間）

※審議会は公開とされているため、録音機器で協議を録音したものをもとに議事概要を作成し、町ホームページで公開する旨を説明。

【議 事】

1. 辞令交付

委員改選に伴い全員に辞令を交付。

2. あいさつ（柴田町副町長：水戸敏見）

本審議会に参加頂きましてありがとうございます。審議会が数ある中でこの男女共同参画推進審議会は、なかなか成果の出ない、見えにくい審議会の1つです。物を作っていく事や、さまざまな仕組みを整える事よりも、いかに広めていくか、分かってくかという活動になるのだらうと思います。その意味では、2年間の任期中に何を目標にするのかということが物凄く難しい事になっていると思います。

男女共同参画が始まったのが20数年前でしょうか。それまでは男女“平等”でした。そこから男女“共同参画”という言い方になって、様々なものを教えて頂きまし

た。しかし、日本にはまだまだ男女差別や格差が存在しています。男女がお互いに優れているところを、どこかで折り合いをつけながらもう少し女性の活躍する場面、女性がいきいきして生活していける所を見ていかなければならないのだと思います。2年間、なかなか参加は出来ませんが皆様の活動を裏から支えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 委員の紹介

※名簿順に事務局から紹介。

4. 会長及び副会長の互選

事務局案の提示を求められ、会長に作山美智子委員を、副会長に青木明委員を推薦し、賛成多数により決定。

【会長挨拶】

僭越ながら会長・副会長を拝命いたしました。今期もどうぞよろしくお願い致します。では、平成28年度の男女共同参画審議委員会について事務報告の方から説明をお願いします。

5. 議題

(1) 第3次しばた男女共同参画プランに基づく平成27年度事業実績書及び第4次しばた男女共同参画プランに基づく平成28年度事業計画書について

～事務局から別紙平成27年度事業実績書についてご報告～

<会長>

平成27年度の事業実績書についておおよそのポイントを拾って、進めて頂きました。事前に皆様方は送られてくる資料に目を通してここに臨まれたものと思います。皆様の全員のご意見を伺いたいのではあると思いますが、目標は1人5分程度でご説明・ご質問など挙げて頂き、時間の配分が許せばまたもう一巡ということを考えて進めていきたいのですが、宜しいでしょうか。

<委員>

子ども家庭課や健康推進課など、参加人数など数値が見えるのはわかりやすくよいが、逆に事業に進捗が見られないものもある。事業が沢山ありすぎて成果が見えないという事もあるが、町は「スポーツ都市」、「非核平和都市」、「男女共同参画都市」の3つの宣言をしているのだから、これを推し進めたときに、子育てを中心

として商工観光やまちづくり政策など具体的になると思います。

<委員>

最初の目的を確認して、いつまでに何をどういう風にするのかという事になると
思います。多岐に渡ってしまい、結局何をやるのか分からないという事にならない
ようにしたいです。この審議会も、期限がないという事はダラダラとなってしまう
可能性もあるので期日を決めて何をキチッとやっていくかという事が大事ではない
でしょうか。最初の目的をしっかりと確認したほうが宜しいのではないかと思います。

<委員>

男女共同参画について、私が勤めていた建設会社では95年に男女雇用機会均等
法が施行されてから、社内でのセクハラ行為をどんどん無くしてコンプライアンス
を高めていった経緯を、社員として私は経験しております。現在、柴田町内の企業
が、どの程度男女共同参画のコンプライアンスを遵守しているかを調査する方法と
して、一例を挙げますと、スーパーマーケットといった男性と女性が働いている店
内でセクハラ問題が起こった時に、その企業がどのような対策を取っているのか、
または取っていないのか、そして取っているとしたらどういった対策を取っている
のかというのを1件1件調べてみるのも1つの手かと思います。

<委員>

私はスポーツに携わって34年になるので、やはり一番に感動を皆に与えるのは
仙台大学の野球部優勝ですとか、柴田高校が甲子園に行くですとかそういうことが
なんとなく盛り上がるのではないかという感じはいつもしております。スポーツ少
年団の役員さんの中には女性が少ないなと思うので、まだまだ共同ではないなと感
じます。

<会長>

ありがとうございました。スポーツというのは介護予防でもとても見直されてお
りますので、2025年までには後期高齢者がガンガン迫ってくるということで、
私は看護の人間ですけれどもそこをどうするのか。スポーツは若者の為だけのもの
ではないので、60歳以降の第一線を退いた方たちが日本健康寿命を長く維持して
もらうかという事がとっても迫っているのかと思います。ありがとうございます。

<委員>

私が見せてもらった中で一番興味を持ったのは「子育て・親育ち講座」というも

のです。各小学校で開催していますが、やはりお父さんの参加が少ないと思います。娘が小学生の頃、学校行事はずっと行っていましたが、その頃とあまり変わらないように思います。今の若いお父さん達というのは子どもとすごく仲が良いのに、比較的學校行事や地域の行事にはお母さんしか来ないんです。お父さんがもっと子育てや學校行事に興味を持つような町になってくれば、男性の育児参加も増えてくるのではないのでしょうか。父親参観日ですとかそういった事を実施していけば、男性がもっと子育てに対する理解も深まるものと思っています。

<委員>

改めて27年度にどういった事をしてきたのかというのは確認させていただきました。事業の参加人数等から男女比を見ると、女性が圧倒的に多いというのは感じました。男性が1桁なのに女性が2～3桁というのが多く見受けられましたので、講座など実施するときには、男性がもっと参加出来るように配慮し、出来れば同じくらいの比率になればよいと思いました。

<副会長>

男女共同参画に関してですが、男性と女性が平等ということではなく、男性は男性、女性は女性でやるべきものは多くありますし、また共同でやらなければならないものもあると思います。そこの色分けをはっきりしてから初めて共同参画という男女でともに望むような形になるんじゃないかと思っています。

例えば色々な講演会が開催されている中で、確かに女性の出席が圧倒的に多いです。しかしその中を見てみると、本当は出て欲しい方、勉強して欲しいと思っっている方は出て来ないのではないかと思っています。このようなケースを行政がどう対処していけるのか、各委員の皆様と考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

<会長>

私自身も仕事をしながら子育てをして参りましたが、今の教育の中で来るべき2025年問題、そして、増える高齢者の地域包括を中心にして人々が地域で暮らして、地域で亡くなるという事を目標にしているところで、大きな病院の入院日数を短くして、出来るだけ訪問看護を利用して家でみましようといった教育がなされています。そして、男女共同参画に関わるとやはり女性たちの力を十分に活躍していただかないと大きな損失だということだなというのを感じております。振り返ると、私が預けた保育所は延長保育で夜9時までやっておりました。そちらは医療系の保護者が関わっていましたので、初めは夜7時まで、ところがそれでは間に合わないという事で園長さん自ら夜間の保育の方に回って夕食を作り、親がお迎え

に行く夜9時までの延長保育を率先してやっておりました。今からまさに20年前、そういった事をやりだしている保育所でした。それで私は非常に助かりました。そういった事を考えますと、その時は、なんとか女性たちも職業生命を繋ぐのがやっとなのかという時期は確かにありましたけれど、もう少ししますと、やはり女性達というのは、男性とは違う思想が出てきますので、その力を柴田町の中で有力的に活用していかなければ大きな損失だという事を考えております。

具体的な資料の中で質問しても宜しいでしょうか。例えば5ページの「家庭教育講座の開催」ということですが、親育ち講座ということで船岡小学校の場合は、10月14日に開催していて98名、そして柴田小学校は1日ずれて6名、これは曜日が違ったものなのか、ここも船岡小学校は上手く受講者を取り上げていて、上手くいった事例なのでしょうか。

→事務局

こちらは新入学児の検診の合間に講座を開いておりました。ですので、その小学校に入学する子ども達の親しか参加していません。船岡小学校は入学児童が多いので98人の親が参加しましたがけれど、柴田小学校は人数が少ないので参加人数が少ないというのが現状です。

<会長>

ありがとうございます。次に団塊の世代の生きがい探し教室について、資料は6ページです。この辺りは是非これからも継続して頑張ってもらいたいと報告書を見て感じました。男女共同参画の守備範囲が広くて膨大でといった感想も出てまいりました。それはそれでその通りかと思えます。男女共同参画の審議会がこのように会を開くたびにそれぞれの実績を出せというように、要望すること自体が、それなりの啓発になっているということもありますので、開催の回数ですとか女性に関心のある子供・医療・助成金がいくらだったのか、明確な数値になって出てまいりましたのでかなり改善されているかと思っております。その影には、報告書を作るために各課がかなり勢力的に頑張ってもらったのだろうという事を感じます。私どもの審議会もそういう意味では貴重なこのメンバーではありますけれども1つも見落とすことなく、覚悟していきたいと思っております。というのが全体的な感想です。その他何か追加発言ございますか。

<委員>

仙台大学の健康対策室がありますね。仙台大学にお年寄りを歩かせるのではなく、仙台大学の学生が他の地区に出張すればもっと集まるのではないのでしょうか。

→事務局

大学に行くのもあれば、チームを組んで地域に行くのもあります。

<委員>

もっと仙台大学の学生を活用することは出来ないのか。

<委員>

学生ボランティアの育成をやっているが、なかなか集まらないのが現状。

<会長>

その他よろしいでしょうか。それでは平成28年度の事業計画についてお願いします。

～事務局から別紙平成28年度事業計画についてご説明～

<会長>

ありがとうございます。かなり膨大な量の説明をしていただきました。これに関しては皆様の方からご質問はありますでしょうか。

<委員>

事業者等分類でBとCが少し違うように感じます。重きを置いているのが後に来るならCを先にしてBを後にすれば良かったのではないのでしょうか。いかがですか？

→事務局

その時の考え方としましては、お金があった場合、町が動こうとすれば出来るものというところと、町民や企業の協力が無いとお金があっても出来ないというところで、Bを難しいという考えでございましたが。これらの点について、当初難易度という表現を使っていましたが、事業尺度という表現に変えたことによって解消できていると思われま。

<委員>

事業尺度をD・E・Fと評価を付けた事業については、できるだけ早く事業実施するよう、関係各課に周知してください。そうしないと、どこまでもズルズルとってしまいます。

農業関係についてですが、どのような町民や企業が参加しないから評価がBなの

か具体的に示すことは必要だと思います。

評価についてですが、実績の書き方は「やった」「やらない」「出来た」「出来ない」など端的に記載していただきたいと思います。

<会長>

今、いろんな場所で自己点検、自己評価というのが世の中の流れであります。何パーセント達成したのか、大学も全て学生から評価を受けて書かなければいけない寿命が縮まるような思いです。

その他ご意見ございますでしょうか。それでは次に進んで宜しいでしょうか。平成28年度男女共同参画推進事業について事務局の方からお願いいたします。

(2) 平成28年度男女共同参画推進事業について

～事務局から別紙平成28年度 男女共同参画推進事業実施計画書についてご説明～

<委員>

こういった講演会に出席したいという感覚は大事だと思います。小さく凝縮して白黒のチラシでアピールするよりも、大々的にカラー印刷で周知させることが大事だと思います。

→事務局

全戸配布となると厳しい部分が出てきますので、顔写真を入れたカラーのものを駅や生涯学習センター等に貼るのは如何でしょうか。

<委員>

そうですね。皆さんの目に付くところをお願いします。

<委員>

若い人たちも何か活動したいと思うけど、どうやって活動して言ったらいいかわからないから、町としてもその人たちを応援するというスタンスでいけば、結構若いママ達の中で活動的な人が多いので、どこでどうやって生かしていくかというコーディネーター的なところを誰が努めていくかというところになると、現実的にそこまで育っていないので、このような講座を実施することで、リーダー的存在に育ってくれる人が出てくる可能性は十分にあると思います。

<副会長>

余談になりますが、次のページに書いてある父親の会は、今いろいろな地域でできていて、農村部あたりは仕事の繋がりはあっても、地区によって会が無かったりします。やはり子育ても非常に大切ですが、子育てプラス地域活動ですとかいろいろなことを考えると、それを行政が後押しをする形があってもいいのではないかと思います。今すぐは難しいと思うので、後押ししながらいろんな地域に男性の活躍する場も増やしていくのが良いと思います。ある程度若いうちから繋がりがあれば、高齢になっても繋がりが消えないですね。

→事務局

今回のこの事業も、ある程度の援助だと思っております。これを知識として更に育てていくかは、参加者の皆さんの力です。より多くの方に参加いただきたいところですが、顔の見える中身の濃い講座にするため、20名の限定で実施することといたします。

<委員>

中身が濃い分、感化されて追従する方も出るかもしれませんよね。人を集めればいいかということではなくて、やはり核となる人材を育てるという意味では、これがベストでしょうね。

<委員>

せっかく良い講座を実施するので、ビデオに撮って後々も共有できるように対応できないでしょうか。

→事務局

固定カメラになったり、講師、参加者の協力をもらわなければならないので、できるかはわかりませんが、検討はしてみます。

4. その他

推進事業について、日程が決まったらお知らせいたします。周知についてご協力ください。

第4次プラン策定後初めての審議会で、現時点で事業推進に必要な審議案件が今年度はございませんので、今回1回にさせていただくのはいかがでしょうか。法改正など、緊急に審議しなければならない事案が発生しましたら、会長と協議のうえご参集くださいますようご連絡差し上げますのでよろしくお願いいたします。

<副会長>

せっかく男女共同参画審議委員に選ばれているので、今日だけの会議じゃ役割を果たせていないと思う。大変かもしれないが、計画の途中経過を、わかる範囲でいいので報告いただくようお願いします。

→事務局

そのように対応できるよう調整します。

5. 副会長挨拶

長時間にわたっての審議お疲れ様でした。審議内容以外にも有意義な意見交換等もできると思います。ざっくばらんな話しが、いろいろなアイデアを生むと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。